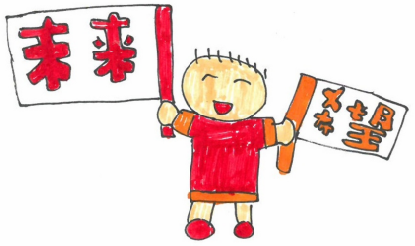
速報用特設ページです。
こちらからどうぞ→
岐阜教組のHPを貸りています。

全国障害者問題研究会
第49回全国大会 岐阜2015

No.9号

ちょうちん

弁当の受け取りは
→全学共通教育棟１０２番教室
→弁当券をご用意ください



私の思い

（岐阜　盲学校）小林
この夏の大会を経て、自分の教育実践がどう変わるか、とても楽しみです。

学習講座

↓図書館＆多目的ホール
当日券少しだけあります

①９：３０～１１：４０
『いま、なぜ”発達保障”なのか？』
－障害のある人たちの未来を築くために
土岐邦彦　さん（岐阜大学）

②１３：００～１４：３０
『運動発達につまずく子どもたち』
－やさしく学ぶからだの発達
林　万リ　さん（小児科医）

③１３：００～１４：３０
『特別支援教育時代の光り輝く映画たち』
二通　諭　さん（札幌学院大学）

④１４：５０～１６：２０
『生活の事実から子どもの願いを育てる』
－大阪発　障害児学級の実践
大島悦子　さん（大阪市立小学校教員）

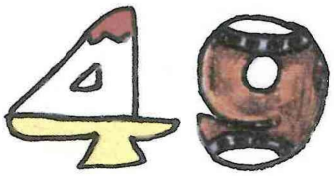
⑤１４：５０～１６：２０
『北欧＝幸せのものさし』
－障害者権利条約のいきる町で
薗部英夫　さん（全障研全国事務局長）

きょう8月9日は長崎被爆70年の日です

被爆者に思いをよせ、「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ」そして「戦争法案反対」「憲法９条は世界の宝」の声を大きく！！

今年は被爆７０年ということで、広島でも長崎でも世界大会が開かれています。長崎の被爆者でノーベル平和賞にも推薦された谷口稜曄さん（日本被団協）の言葉を紹介します。**「核兵器のない世界の実現のため、これからも命ある限り原爆被害の実相を世界中に語り続けます」「戦時中の時代に逆戻りしようとしています。私は戦争につながる戦争法案は絶対に許しません」**。谷口さんの叫びをしっかり受け止め、私たちも声をあげていきましょう。（大会参加のみなさまへ　速報部一同）

大会へのメッセージ



全障研第４９回全国大会
　準備委員長　土岐邦彦様

どんな口実があろうとも、戦争法案は、全障研の理念（障害者の権利を守り、全面的な発達を保障する）と大元から相容れない。戦争法案をきっぱりと拒む。それが障害者の未来をひらく。その熱い決意をかかげて、全障研大会の成功のために、力をつくされることに、心からの声援を送ります。

２０１５年８月７日
水戸市　　鈴木宏哉（全障研茨城支部長）

参加者突撃インタビュー⑪

岐阜県から参加の萩さんです。
２回目の参加です。
保育で、友だちとたくさん遊びたいです。

参加者突撃インタビュー⑫

鹿児島県から参加の米衛（よねえ）さん。
飛行機でも前泊しないと開会式に間に合わないため、前泊できました。学童保育の園長さんと主任さん二人で参加。来年の京都の次が鹿児島なので大会運営の下見を兼ねてきました。

８日（一日目）、国際会議場に落とし物がありました。心当たりの方は本部までご連絡を。
①眼鏡：国際会議室　②かさ：全大会会場

１５年（平成２７年）８月９日 日曜日

格差社会に警鐘

岐阜市で全国障害者問題研究会大会
フリージャーナリスト 斎藤さんが講演

「全国障害者問題研究会第49回全国大会」が8日、岐阜市長良福光の長良川国際会議場で始まり、県内外から参加した約2500人が講演などで平和と発達保障について見識を深めた。9日まで。（湯浅裕作）

全国障害者問題研究会ふチャンなど後援。障害者支援や教育の在り方について意見を交わし、より良い環境の実現を目指す。県での開催は初めて。

記念講演会では、フリージャーナリストの斎藤貴男さんが「戦後70年　戦争のできる国づくりと格差社会」と題して講演。斎藤さんは「多くの人は戦争をしたくないが、国の考えとは大きな隔たりがある。利益を重視しているためであり、それが格差社会を生む要因でもある」と語った。

9日には岐阜大学（同市柳戸）で、特別支援教育や寄宿舎教育などをテーマにした分科会が開かれる。

「戦後70年　戦争のできる国づくりと格差社会」をテーマに講演するフリージャーナリストの斎藤貴男さん＝岐阜市長良福光、長良川国際会議場

8月9日、地元紙「岐阜新聞」に掲載されました。